



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行  
市議団ニュース

ご相談は  
お気軽に  
市議会議員  
福田 明  
43-0468  
市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462

# 選択的夫婦別姓を認める 民法の一部改正の成立を

3月市議会には「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対する陳情が提出されてきました。これに対し、選択的別姓を認める立場から、鈴木やす子議員が討論に立ちました。その要旨を紹介します。

今国会提出予定の選択的夫婦別姓制度の導入を柱とする民法改正案では、別姓選択とともに、女性の結婚年齢を現行の16歳から18歳に引き上げ、また「嫡出子」と「非嫡出子」との法定相続分を同等にする、さらに女性の再婚禁止期間を現行の離婚後6か月から100日

に短縮する、などが盛り込まれています。

陳情では、家族環境の変化に言及されていますが、その理由を夫婦別姓にみるのは短絡的で乱暴な論理と考えます。

戦前の旧民法では、妻が夫の「家」の姓を強制された歴史があり、新民法でも同姓強要が残され



開花一枝

大北川の堤防 (4/9)



## なくそう！貧困 とパレード

水戸市内で4月3日、「なくそう貧困！いのちと暮らしを守る春の県民

た経緯があります。しかし夫婦同姓の強要による就労や生活上の不便、精神的苦痛、またあえて別姓を選択したさいの法的無権利状態など、多くの問題点が指摘されています。これまでも国会で長く議論され、昨今の世論動向でも別姓容認が半数を超えています。

現憲法第24条では、結婚における「個人の尊厳と両性の本質的平等」をうたい、子どもの権利条約では、出生による差別を禁止しています。選択的夫婦別姓制度の実現は、単に姓の問題、不利益を受けた人の人権を守るということにとどまらない、真の男女平等の社会を築くための一歩と考えます。

以上の理由により、女性差別撤廃を綱領に掲げる日本共産党の議員として、このたびの陳情の採択には反対をするものです。

大集会」が開かれ150人が参加しました。茨城労連、農民連、茨商連、新日本婦人の会、民医連の5団体でつくる実行委員会が主催したものです。集会につき、市内をパレードして、「大企業の内部留保を労働者の賃金に」「消費税増税反対」などの声を響かせました。福田明、鈴木やす子の両市議も参加しました。

### 3月市議会 主な議案の採決結果

- 平成21年度市補正予算 全員賛成で可決
- 市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 賛成多数で可決
- 平成22年度市一般会計予算 賛成多数で可決
- 平成22年度市特別会計予算、企業会計予算 全員賛成で可決
- 普天間基地の無条件返還を求める意見書(日本共産党議員団提案) 賛成少数で否決
- 「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書(陳情) 賛成多数で可決
- 核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書(平和市長会議 提案) 全員賛成で可決
- 「米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める」請願 賛成少数で否決

### 市役所新人事

- 市長公室長 鈴木元 (敬称略)
- 総務部長 豊田敏明\*
- 議会事務局長 小川和夫
- 環境産業部長 大友正道\*
- 市民福祉部長 高橋昇\*
- 都市建設部長 鈴木健司
- 教育次長 芳賀健郎\*
- 水道部長 蛭田恵\*
- 福祉事務所長 池亀隆文\*
- 病院事務部長 金成博幸
- 消防長 澤田清
- \* 継続

### 日本共産党 参院茨城候補 稲葉のぶとし かけある記

## 思い起こす30年前の出会い

4月6日に青年・学生キャンペーンカーの弁士をつとめ、茨城大学の入学式会場前で宣伝カーから新入生にむかってよびかけました。「みなさんの学生生活を応援します。世界一高い学費を値下げ、無償化めざして力を合わせましょう」

訴えながら、ちょうど30年前に自分が茨大に入学したときのことを思い出していました。この茨大の学生寮ですごし、大学生協の運動にかわり、民青や共産党と出会ったのでした。

政治や社会の動きなどにはほとんど関心をもっていませんでした。それが、自分の視野が日本と世界に大きく広がっていき、日々新しいものを吸収して変わっていく自分に驚いたものです。ここでの出会いが私の人生を決定づけました。

30年前とは情勢も大学のようにも違いますが、新入生が有意義な学生生活を送られることを願ってやみません。



なくせ貧困！の集会で、福田明、鈴木やす子 両北茨城市議と、稲葉のぶとし候補(中央)